



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 片倉工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3001 URL http://www.katakura.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 公哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺 元康 (TEL) 03(6832)0229  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	25,467	2.1	1,530	25.3	1,956	26.0	916	△37.1
28年12月期第2四半期	24,935	2.4	1,221	—	1,553	—	1,457	171.1

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 201百万円( —%) 28年12月期第2四半期 △2,188百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	26.06	—
28年12月期第2四半期	41.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	139,928	78,694	39.9
28年12月期	144,659	78,906	38.4

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 55,875百万円 28年12月期 55,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	10.00	10.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	47,400	1.0	1,750	17.7	2,500	16.2	1,200	△29.0
								34.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正の詳細は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年12月期2Q	35,215,000株	28年12月期	35,215,000株
29年12月期2Q	62,989株	28年12月期	62,824株
29年12月期2Q	35,152,121株	28年12月期2Q	35,152,336株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年8月21日に機関投資家・アナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや、企業収益、雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が継続したものの、アジア新興国等の経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは「成長事業への転換」に向けた基盤構築を図るとともに、「新規事業の創出」に取り組んでおります。繊維・医薬品・機械関連等の製造事業におきましては、より一層のコストダウン努力に加えて、付加価値の高い製品提供や独自性のある製品の開発強化に努めてまいりました。ショッピングセンター等の不動産事業におきましては、社有地開発による収益の拡大、既存商業施設の鮮度向上による収益の安定に努めてまいりました。新規事業におきましては、各分野における事業規模拡大・収益力強化を図るとともに更なる事業の創出に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、医薬品事業において、平成28年4月の薬価改定の影響および長期収載品の減少等により減収となったものの、機械関連事業において、消防自動車関連で一般車両及び大容量送水ポンプ車の受注増で増収となったこと等により、254億67百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

営業利益は、医薬品事業の販売管理費の減少や不動産事業の増収により15億30百万円（前年同四半期比25.3%増）、経常利益は19億56百万円（前年同四半期比26.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億16百万円（前年同四半期比37.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 繊維事業

耐熱性繊維等の機能性繊維が堅調に推移したもののカジュアルインナーが低迷したため、減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は44億95百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業損益は57百万円の損失（前年同四半期は24百万円の損失）となりました。

#### ② 医薬品事業

医薬品事業は、平成28年4月の薬価改定の影響および長期収載品の減少等により減収となりました。

この結果、医薬品事業の売上高は75億30百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は研究開発費等販売管理費減少により5億13百万円（前年同四半期比130.1%増）となりました。

#### ③ 機械関連事業

トラック部品は、量産品の受注増により、消防自動車関連は、一般車両及び大容量送水ポンプ車の受注増によりそれぞれ増収となりました。

この結果、機械関連事業の売上高は69億60百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。営業利益は、2億8百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

#### ④ 不動産事業

不動産事業は、平成28年4月に実施した「コクーン1」リニューアルによるテナント賃料の増加により増収となりました。

この結果、売上高は51億41百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益17億78百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

## ⑤ その他

その他の区分は、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、新規事業である低カリウムレタス、はなびらたけの生産・販売、デイサービス等により構成されております。

ホームセンターは、「マルベリーガーデン」で増収となりましたが、その他の既存店が低迷し減収となりました。

この結果、その他の売上高は13億39百万円（前年同四半期比1.2%減）、営業損益は、新規事業のコストがかさみ1億49百万円の損失（前年同四半期は2億17百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,399億28百万円（前連結会計年度末比47億31百万円減、同比3.3%減）となりました。

これは、消防自動車関連での製品納品により棚卸資産残高が減少したこと、投資有価証券の時価が、前連結会計年度末に比べて下落したことが主因であります。

## (資産の部)

流動資産は、519億41百万円（前連結会計年度末比22億86百万円減、同比4.2%減）となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、仕掛品、リース投資資産、流動資産のその他であり、仕掛品、流動資産のその他がそれぞれ22億53百万円、6億84百万円減少し、現金及び預金、リース投資資産がそれぞれ8億6百万円、7億53百万円増加しました。

固定資産は、879億86百万円（前連結会計年度末比24億44百万円減、同比2.7%減）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、投資有価証券であり、それぞれ7億34百万円、14億61百万円減少しました。

## (負債の部)

流動負債は、196億16百万円（前連結会計年度末比38億93百万円減、同比16.6%減）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金、短期借入金であり、それぞれ21億98百万円、11億31百万円減少しました。

固定負債は、416億17百万円（前連結会計年度末比6億25百万円減、同比1.5%減）となりました。増減の主要な項目は、繰延税金負債、退職給付に係る負債であり、それぞれ3億40百万円、1億71百万円減少しました。

## (純資産の部)

純資産は、786億94百万円（前連結会計年度末比2億12百万円減、同比0.3%減）となりました。また、自己資本比率は39.9%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの「現金及び現金同等物」（以下、「資金」という。）は、114億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億43百万円の減少（前連結会計年度末比13.9%減）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、28億54百万円（前年同四半期比36.9%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（16億21百万円）、非資金項目である減価償却費（17億円）を計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、34億68百万円（前年同四半期は24億21百万円の支出）となりました。これは主に、預け入れ期間が3ヶ月を超える定期預金への資金振替（26億50百万円）、有形固定資産の取得による支出（7億3百万円）があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、12億29百万円（前年同四半期は46億34百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入（32億円）、長期借入金の返済による支出（27億6百万円）、短期借入金の減少（11億31百万円）によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、「平成28年12月期決算短信」発表時（平成29年2月14日）の予想を以下のとおり修正いたします。

平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	48,000	2,000	2,500	1,300	36円98銭
今回修正予想 (B)	47,400	1,750	2,500	1,200	34円14銭
増減額 (B-A)	△600	△250	—	△100	—
増減率 (%)	△1.3	△12.5	—	△7.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年12月期)	46,927	1,486	2,152	1,691	48円11銭

売上高は、医薬品事業での減収を主因として当初予想を下回る見込みとなりました。

営業利益は減収に加えて退職給付費用の増加等により減益となる見込みとなりました。

経常利益は雑収入の増加等により当初予想どおりとなるものの、親会社株主に帰属する当期純利益は固定資産処分損の発生等により当初予想を下回る見込みとなりました。

## 【ご参考】セグメント業績予想

(単位：百万円)

	通期(予想)	
	売上高	営業利益
繊維	9,400	△100
医薬品	14,700	300
機械関連	10,300	50
不動産	10,300	3,400
その他	2,700	△300
調整額	—	△1,600
合計	47,400	1,750

当資料で記載している業績予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、不確実な要因に係る仮定を前提としています。したがって、実際の業績は、様々な要因によって、記載している内容と大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,136	25,943
受取手形及び売掛金	11,831	11,248
リース投資資産	4,064	4,817
商品及び製品	4,513	4,244
仕掛品	3,124	871
原材料及び貯蔵品	2,747	2,691
その他	2,813	2,128
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	54,228	51,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,585	31,850
土地	16,811	16,803
その他(純額)	2,113	2,115
有形固定資産合計	51,509	50,769
無形固定資産	1,350	1,208
投資その他の資産		
投資有価証券	34,635	33,173
退職給付に係る資産	1,681	1,651
その他	1,330	1,254
貸倒引当金	△77	△71
投資その他の資産合計	37,570	36,008
固定資産合計	90,430	87,986
資産合計	144,659	139,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,937	4,738
短期借入金	5,253	4,122
1年内返済予定の長期借入金	1,212	1,459
未払法人税等	688	261
賞与引当金	355	347
役員賞与引当金	16	—
その他	9,046	8,686
流動負債合計	23,509	19,616
固定負債		
長期借入金	13,184	13,431
長期未払金	2,361	2,194
繰延税金負債	10,294	9,953
土壌汚染処理損失引当金	63	60
退職給付に係る負債	3,012	2,840
長期預り敷金保証金	9,617	9,582
資産除去債務	1,726	1,734
その他	1,983	1,819
固定負債合計	42,242	41,617
負債合計	65,752	61,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	332	332
利益剰余金	37,265	37,829
自己株式	△83	△83
株主資本合計	39,331	39,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,349	16,049
繰延ヘッジ損益	72	25
退職給付に係る調整累計額	△184	△95
その他の包括利益累計額合計	16,237	15,979
非支配株主持分	23,337	22,818
純資産合計	78,906	78,694
負債純資産合計	144,659	139,928

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	24,935	25,467
売上原価	16,074	16,599
売上総利益	8,861	8,867
販売費及び一般管理費	7,639	7,336
営業利益	1,221	1,530
営業外収益		
受取利息	12	5
受取配当金	382	362
その他	164	197
営業外収益合計	559	564
営業外費用		
支払利息	105	84
シンジケートローン手数料	1	37
その他	120	16
営業外費用合計	227	138
経常利益	1,553	1,956
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	1,008	—
特別利益合計	1,008	4
特別損失		
固定資産処分損	63	127
減損損失	43	0
割増退職金	—	200
その他	14	11
特別損失合計	121	339
税金等調整前四半期純利益	2,441	1,621
法人税、住民税及び事業税	760	313
法人税等調整額	58	140
法人税等合計	818	454
四半期純利益	1,622	1,167
非支配株主に帰属する当期純利益	165	251
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,457	916

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,622	1,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,550	△1,022
繰延ヘッジ損益	△161	△47
退職給付に係る調整額	△99	103
その他の包括利益合計	△3,811	△966
四半期包括利益	△2,188	201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,981	658
非支配株主に係る四半期包括利益	△206	△457

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,441	1,621
減価償却費	2,012	1,700
減損損失	43	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	△7
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△16
土壌汚染処理損失引当金の増減額(△は減少)	△4	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23	△121
受取利息及び受取配当金	△394	△367
支払利息	105	84
固定資産処分損益(△は益)	63	127
固定資産売却損益(△は益)	△0	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,008	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,257	583
リース投資資産の増減額(△は増加)	△1	△753
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,517	2,578
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,580	△2,127
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△2	△41
その他	869	27
小計	4,280	3,275
利息及び配当金の受取額	394	367
利息の支払額	△105	△76
法人税等の支払額	△48	△711
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,521	2,854

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,070	△2,650
有形固定資産の取得による支出	△1,250	△703
有形固定資産の除却による支出	△109	△105
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△1,031	△30
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,026	—
関係会社株式の取得による支出	—	△5
貸付金の回収による収入	29	30
長期貸付けによる支出	△12	—
その他	—	△3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,421</b>	<b>△3,468</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,540	△1,131
長期借入金の返済による支出	△2,511	△2,706
長期借入れによる収入	—	3,200
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△351	△351
非支配株主への配当金の支払額	△61	△61
設備関係割賦債務の返済による支出	△91	△91
その他	△77	△86
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,634</b>	<b>△1,229</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,534	△1,843
現金及び現金同等物の期首残高	9,256	13,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,722	11,405

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	4,738	7,858	5,945	5,037	1,356	24,935	—	24,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	0	20	119	144	△144	—
計	4,742	7,858	5,945	5,057	1,476	25,080	△144	24,935
セグメント利益又 は損失(△)	△24	223	184	1,626	△217	1,793	△571	1,221

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の製造・販売、低カリウムレタス・はなびらたけの生産・販売、デイサービス等の新規事業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△571百万円には、セグメント間の取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	4,495	7,530	6,960	5,141	1,339	25,467	—	25,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	0	19	120	145	△145	—
計	4,500	7,530	6,960	5,160	1,459	25,612	△145	25,467
セグメント利益又 は損失(△)	△57	513	208	1,778	△149	2,294	△764	1,530

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムレタス・はなびらたけの生産・販売、デイサービス等の新規事業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△764百万円には、セグメント間の取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△762百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。